

新庁舎建設だより

～八女市新庁舎建設工事～

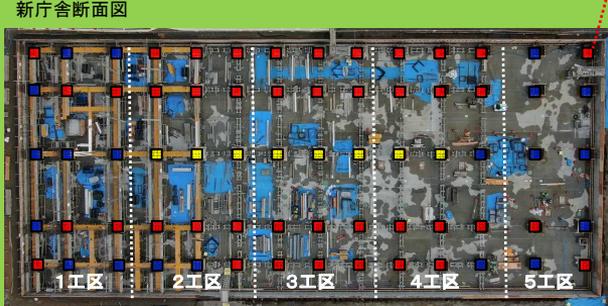
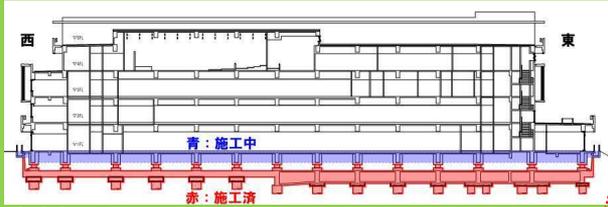
2022年12月No.10
発行：八女市企画部
新庁舎建設課

◆免震構造

新庁舎では、大地震が起きた後も防災拠点として庁舎の機能を維持し、迅速な災害対応等業務を継続できるよう、基礎の部分に免震構造を採用しています。それぞれ役割の違う3種類の免震装置を計70ヶ所設置しました。地震時の振動エネルギー（ゆれ）を免震ゴムが吸収し、ゆっくりと平行にゆれることで、建物そのものの被害や、家具などの転倒や破損等による二次災害も抑えることができます。

工事の進捗状況

11月に入り、新庁舎の構造の要となる免震装置を設置しました。その後免震装置直上の基礎部分のコンクリートを打設し、現在免震層（地下部分）の基礎や梁及び1階床までの鉄筋や型枠の組み立てを5工区に分けて進めています。



市役所敷地上空から(令和4年11月30日現在) ※■●□説明(右斜め上)

12月の工事予定

※●：コンクリート打設日(予定)
※10(土)、24(土)は作業実施日となります。

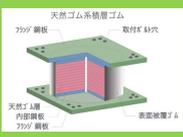
擁壁工事	●	●
免震上基礎工事	●	●
地中熱設備工事	→	→

問い合わせ：新庁舎建設課：0943-24-8091

工事現場事務所：0943-24-8650(施工業者：東急・I/O/W/ツグ JV)

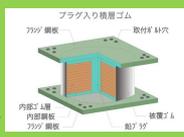
■ 天然ゴム系積層ゴム支承 42基

薄いゴムと鋼板を交互に積層することにより、「上下(鉛直)方向には硬く、水平方向には柔らかい」性能を発揮します。鉛直方向には建物を支える機能を、水平方向には地震の揺れを吸収する機能を有しています。



■ 鉛プラグ入り積層ゴム支承 20基

天然ゴム系積層ゴムの中心部に鉛プラグを封入した積層ゴムで、「天然ゴム系積層ゴム」部がばね機能を、「鉛プラグ」部が地震時の振動を弱める減衰機能を発揮します。



■ 弾性すべり支承 8基

天然積層ゴムにすべり材を取り付けた形で構成されており、小さな地震時には積層ゴム部のみが変形し、大きな地震になると積層ゴム部とすべり材間ですべりが発生し、大地震時の大きな揺れに追従します。

